

お知らせ

○豊英島でヒメコマツ保全；房総半島で絶滅が危惧されているヒメコマツ保全の一環として、豊英島で植栽・育成に取り組むよう要請があり、今後「ヒメコマツ育成」を当会の新たな課題として協力することになりました。準備のため1月8日ヒメコマツ研究グループ（県中央博、県生物多様性センター、東大演習林、県森林研）の方々が豊英島を調査され、植栽予定地に次の2区画が選定されました。区画A:コナラ更新林西平坦部約10×20㍍、区画B:通称「禁断の岬」立入り禁止区域の尾根と急斜面約10㍍。区画Aについては1月11日の安全研修で伐採し、残りを2月12日数名出動して伐採を終了しました。区画B急斜面の伐採は、2月12日県森林研究所の職員の方々にお願いしました。4月18日植栽に向け、準備を進めているところです。植栽後は多少の管理とモニタリングを考えています。会員の皆様のご協力をお願いします。

(房総のヒメコマツについては添付資料1をご覧ください)

○ヒメコマツシンポジウム；3月14日(日曜日) 添付2. シンポジウムご案内の通り中央博物館で開催されます。豊英島での活動開始に当り、多くの会員が参加し理解を深められるようお勧めします。

○3月の定例活動日；3月22日(月、休日) シイタケ植菌、ニホンジカ頭数調査、食害・植生調査、9時30分、第二駐車場集合。

○4月の定例活動日；4月18日(日曜日)、年次総会、ヒメコマツ植栽など、9時30分、第二駐車場集合。

○会員の退会；君津の石井朝子さん、2月14日退会。「森は楽しかった！お世話になりました」とのことでした。

活動の記録

2月14日(日曜日) 晴 参加会員17名に1月の安全研修受講の加藤・佐々木・山口さんも加わり総勢20名。天候に恵まれ、1月伐採木の造材作業(シイタケホダ木づくり)、巨木林下層木調査、成長量調査、相対照度測定など予定していた全ての作業を完了。またヒメコマツ研究グループの藤平先生、遠藤・柳さんにもご参加いただき、ヒメコマツのお話を拝聴しました。



寒さを忘れ快晴の豊英島で存分に働きました

○ヒメコマツのお話；藤平先生から絶滅の危機に瀕する房総のヒメコマツについて、房総半島の地史的・植物地理学的観点や地球温暖化、人為的影響、遺伝子的な影響など分かりやすくお話頂きました。また柳さんからは県のヒメコマツ回復計画策定についてのお話、遠藤さんからは豊英島への植栽・管理についてお話いただきました。

○巨木林下層木調査；A-B-C区域とも今季の新個体(前年調査以降15%以上に成長した幼樹)を除き調査を終了し、調査区画表示のために2㍍間隔にロープ張りを行った。新個体の調査は3月に実施予定。



「千年の森・ヒメコマツ」の活動は藤平先生のお話でスタート

○巨木林成長量調査；区域内約70個体の胸高周囲長測定を終了した。胸高の違いや樹皮の凹凸などによる計測誤差は意外に大きい。

この活動は、2009年度セブニーレブンみどりの基金の公募助成を受けています。

○伐採木の造材作業；コナラ更新区域とヒメコマツ植栽予定地に山積みになっていた30本を超える伐採木の枝を落とし、90センチ長さに玉切り、人海作戦で所定の位置に運び、シイタケ原木65本（2千駒植菌相当分）が出来上がり、コナラ更新区域もヒメコマツ予定地もきれいに整備されました。数は力！！



森にチェーンソーの快音鳴り響き



またたく間にシイタケ原木65本



照度測定リハーサル



照度測定に最適の曇り空

○相対照度測定；照度計・トランシーバー操作説明とリハーサルに続き、落葉期の相対照度測定。吊橋上を対照区とし、7月に着葉期の照度測定を行った島内10地点及び巨木林調査区2区間隔全地点を測定。幸い調査開始時から太陽が雲に覆われたため、誤差の少ない測定ができました。調査結果は次号で報告します。

○植生調査；「豊英島のシュンランが激減している」と喧かれ始めて2-3年、この日検証のためシュンランの個体数調査を行い、平坦部に74株を確認。うち3株は蕾。74株の殆どは植生保護柵内にあり、柵外には少ない。シュンランは会発足時よりも確かに減少しているが、保護柵内は食害（ノウサギやニホンジカ）を免れ健在。



保護柵内にシュンランの蕾

開花確認のためスハマソウ自生の北斜面を踏査したが、小さい株5株を確認したのみで、残念ながら開花しそうな勢いは見られない。急斜面を身軽に降下して観察された藤平先生のご意見は日照不足では？とのことでした。



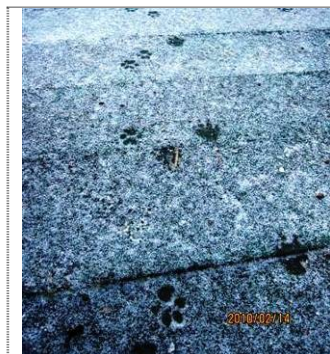
清和県民の森のコセリバオウレン

会発足以来未確認のシロバナショウジョウバカマ、コセリバオウレン（千葉県；C）を探しましたが、今年も残念ながら見いだせない。清和出身の坂本さんの案内で立ち寄った清和県民の森では両種ともあり、コセリバオウレンは落ち葉の間に白い花を覗かせていました。旧森林館下斜面には小さいスハマソウが開花していました。



急斜面でスハマソウ探索中の藤平先生

○シイタケ収穫；朝までの雨で水分含みずっしり重くなっていましたが、立派な肉厚のドンコ揃い、5、8キロ。殆ど08年植菌で07年以前は収量が減っています。皆でお土産に持ち帰りました。



この足跡は誰の？

14日の朝、吊り橋の入り口から島に向かって
薄い雪の上に残されていました
右と左は形が少し異なります

この活動は、2009年度セブン-イレブンみどりの基金の公募助成を受けています。

